



平成30年9月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月9日

上場会社名 株式会社フーマイスターエレクトロニクス
 コード番号 3165 URL <http://www.fuco-ele.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 武石 健次

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 藤田 和弘

TEL 03-3254-5361

四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年9月期第1四半期の連結業績(平成29年10月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月期第1四半期	9,452		83		78		84	
29年9月期第1四半期								

(注) 包括利益 30年9月期第1四半期 119百万円 (%) 29年9月期第1四半期 百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年9月期第1四半期	34.17	
29年9月期第1四半期		

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月期第1四半期	15,319		6,350		6,350	40.7
29年9月期	18,486		6,517		6,517	34.6

(参考) 自己資本 30年9月期第1四半期 6,350百万円 29年9月期 6,517百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年9月期		0.00		35.00	35.00
30年9月期					
30年9月期(予想)		0.00		35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年9月期の連結業績予想(平成29年10月1日～平成30年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	21,000		60		70		40		16.25
通期	42,000	24.7	120		100		60	421.9	24.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年9月期1Q	2,529,100 株	29年9月期	2,529,100 株
期末自己株式数	30年9月期1Q	67,739 株	29年9月期	67,739 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年9月期1Q	2,461,361 株	29年9月期1Q	2,461,412 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(企業結合等関係)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成29年10月1日～平成29年12月31日)におけるわが国および世界経済は緩やかな回復基調が続きましたが、北朝鮮情勢等の地政学的リスクが懸念されるなど先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループが参入しております電子部品業界は、車載用途向け電子部品の市場は堅調を維持しているものの、スマートフォン市場の伸びが鈍化しております。

このような環境の中、当社グループにおきましては、既存取引の強化及び新規事業の推進や取扱い商品の拡大に取り組み、業績の向上を目指してまいりましたが、LCDモジュールの売上が大幅に減少し、スマートフォン向け半導体の売上也減少いたしました。

この結果、売上高は94億52百万円となり、売上高減少に伴い営業損失は83百万円となりました。為替変動による為替差益が23百万円発生したことなどにより、経常損失は78百万円となりました。また、連結子会社(テンワスエネルギー株式会社)の株式売却損14百万円の発生により、親会社株主に帰属する四半期純損失は84百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメント別概況は以下のとおりであります。

(注)当第1四半期連結累計期間から連結財務諸表を作成しているため、各報告セグメントの前年同期比は記載しておりません。

① 電子部品関連事業

当第1四半期連結累計期間における電子部品関連事業の売上高は、94億14百万円となりました。

a. 半導体事業

白物家電、車載機器、PCバッテリー監視用途向け半導体の需要が底堅く推移し、当社販売も好調に推移いたしました。一方、当社取扱い製品が採用されているスマートフォンの販売は前年度モデルと比較し鈍化傾向にあり、当社製品売上高も減少する結果となりました。

LCDモジュール事業は、顧客・仕入先と緊密な関係を維持し、顧客ニーズに対応した新たな技術動向の紹介等の営業活動や保守需要の取り込みに努めましたが、売上は大幅に減少いたしました。

この結果、売上高は56億19百万円となりました。

b. パネル事業

パネル事業は、スマートフォンへの需要シフトにより、国内のパソコン市場は縮小傾向が続いておりますが、顧客・仕入先との緊密な連携を維持し、顧客の需要の変動に対応できたことにより販売の減少を最小限に抑えることができました。デスクトップモニター市場では、大型・高付加価値モデルの拡充に努め、売上は堅調に推移いたしました。パブリックディスプレイ市場では、大型・高精細モデルとビデオウォールの分野の販売が順調に推移しました。一方、小型パネルの販売が大幅に減少しました。

この結果、売上高は33億92百万円となりました。

c. 電子材料事業

電子材料事業は、有機EL用封止材においては、顧客のシェアダウンによって受注が伸び悩みました。また当第1四半期連結累計期間より中国顧客向けとして導光板用PMMAレジンの販売が始まりました。

この結果、売上高は4億2百万円となりました。

② 太陽光発電関連事業

太陽光発電関連事業は、稼働済の当社小松ヶ丘太陽光発電所、旭第一太陽光発電所、旭第二太陽光発電所とも、例年並みの発電量となりました。

この結果、売上高は37百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金が27億99百万円減少したこと等により、153億19百万円（前連結会計年度末比31億66百万円減）となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は、短期借入金が16億53百万円減少したこと、買掛金が12億36百万円減少したこと等により、89億68百万円（前連結会計年度末比30億円減）となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、親会社株主に帰属する四半期純損失により利益剰余金が84百万円減少したこと、剰余金の配当に伴う利益剰余金の減少が86百万円あったこと等により、63億50百万円（前連結会計年度末比1億66百万円減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年9月期の連結業績予想につきましては、平成29年11月10日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

なお、平成30年1月31日発表の「連結子会社における固定資産の譲渡ならびに解散に関するお知らせ 7. 今後の見通し」に記載いたしました通り、平成30年9月期第2四半期連結決算において、固定資産売却益が約1億25百万円を営業外収益として計上する予定であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,093,223	1,037,197
受取手形及び売掛金	9,064,147	6,265,002
商品	3,137,614	3,117,656
繰延税金資産	68,499	58,687
その他	997,977	736,903
流動資産合計	14,361,462	11,215,448
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	677,481	677,481
減価償却累計額	△335,314	△338,800
建物及び構築物(純額)	342,166	338,680
機械装置及び運搬具	1,932,609	1,932,609
減価償却累計額	△411,693	△429,995
機械装置及び運搬具(純額)	1,520,915	1,502,614
工具、器具及び備品	106,332	103,909
減価償却累計額	△86,602	△85,767
工具、器具及び備品(純額)	19,729	18,141
土地	957,340	957,340
リース資産	45,373	48,115
減価償却累計額	△33,092	△34,404
リース資産(純額)	12,280	13,710
建設仮勘定	150,000	150,000
有形固定資産合計	3,002,432	2,980,488
無形固定資産		
のれん	595,515	586,627
その他	8,562	8,071
無形固定資産合計	604,078	594,698
投資その他の資産		
投資有価証券	108,615	117,492
従業員に対する長期貸付金	16,730	15,985
長期貸付金	200,000	200,000
その他	193,592	195,830
投資その他の資産合計	518,938	529,307
固定資産合計	4,125,450	4,104,494
資産合計	18,486,912	15,319,942

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,973,808	1,737,021
短期借入金	7,263,725	5,610,500
1年内返済予定の長期借入金	120,000	120,000
未払法人税等	47,192	2,984
賞与引当金	33,784	12,262
役員賞与引当金	20,000	—
その他	104,624	106,916
流動負債合計	10,563,135	7,589,684
固定負債		
長期借入金	660,000	630,000
繰延税金負債	201,068	187,967
退職給付に係る負債	104,878	109,059
役員退職慰労引当金	368,754	373,200
資産除去債務	33,563	33,680
その他	37,971	45,397
固定負債合計	1,406,235	1,379,305
負債合計	11,969,371	8,968,989
純資産の部		
株主資本		
資本金	550,450	550,450
資本剰余金	2,382,670	2,382,670
利益剰余金	3,474,955	3,304,702
自己株式	△41,201	△41,201
株主資本合計	6,366,874	6,196,621
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	38,664	44,823
その他の包括利益累計額合計	38,664	44,823
非支配株主持分	112,001	109,507
純資産合計	6,517,541	6,350,952
負債純資産合計	18,486,912	15,319,942

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成29年12月31日)
売上高	9,452,055
売上原価	9,226,186
売上総利益	225,868
販売費及び一般管理費	309,055
営業損失(△)	△83,186
営業外収益	
受取利息及び配当金	5,158
為替差益	23,409
受取家賃	8,431
その他	2,116
営業外収益合計	39,116
営業外費用	
支払利息	23,410
その他	10,568
営業外費用合計	33,978
経常損失(△)	△78,049
特別損失	
固定資産除却損	116
関係会社株式売却損	14,050
特別損失合計	14,167
税金等調整前四半期純損失(△)	△92,216
法人税、住民税及び事業税	389
法人税等調整額	△6,006
法人税等合計	△5,617
四半期純損失(△)	△86,599
(内訳)	
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△84,104
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,494
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	6,158
その他の包括利益合計	6,158
四半期包括利益	△80,440
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△77,946
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,494

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自平成29年10月1日至平成29年12月31日)

報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結財務諸表計上額 (注)
	電子部品関連事業	太陽光発電関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,414,145	37,909	9,452,055	-	9,452,055
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	9,414,145	37,909	9,452,055	-	9,452,055
セグメント利益	216,875	8,993	225,868	-	225,868

(注) セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の売上総利益と一致しております。

(企業結合等関係)

事業分離

1. 事業分離の概要

(1) 分離先企業の名称

被取得企業の名称 テンワスエネルギー株式会社
事業の内容 再生可能エネルギー発電事業

(2) 事業分離を行った主な理由

当社グループは、太陽光発電事業の一環として、平成29年8月31日に、福島県に太陽光発電設備を保有するテンワスエネルギー株式会社の全株式を取得いたしました。

当該設備は当第1四半期連結会計期間において連結子会社SRエネルギー匿名組合に移転し、同設備移転後のテンワスエネルギー株式会社については、その活用方法を検討しておりましたが、今後の太陽光発電事業の方針及び戦略に照らして検討を行った結果、同社株式を売却することといたしました。なお、同設備は当第2四半期連結会計期間に第三者に売却し投下資金の回収を図ることといたしました。

(3) 事業分離日

平成29年10月15日

(4) 法的形式を含むその他取引の概要に関する事項

受取対価を現金等の財産のみとする株式譲渡

2. 実施した会計処理の概要

(1) 移転損失の金額

関係会社株式売却損	14,050千円
-----------	----------

(2) 移転した事業に係る資産及び負債の適正な帳簿価額並びにその主な内訳

流動資産	22,514千円
資産合計	22,514千円
流動負債	8,263千円
負債合計	8,263千円

(3) 会計処理

テンワスエネルギー株式会社の連結上の帳簿価額と売却額との差額を「関係会社株式売却損」として特別損失に計上しております。

3. 分離した事業が含まれていた報告セグメント

太陽光発電関連事業

4. 当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結損益及び包括利益計算書に計上されている分離した事業に係る損益の概算額

営業損失	197千円
------	-------